

平成 30 年度第 4 回大和市地域包括支援センター運営協議会 及び
平成 30 年度第 2 回大和市認知症初期集中支援チーム検討委員会 議事録

日 時 平成 30 年 10 月 18 日（木） 13 時 30 分から 14 時 30 分
場 所 大和市保健福祉センター 1 階保健指導室・検診室
出席者 委員 7 名、事務局 9 名
内 容

■第 4 回大和市地域包括支援センター運営協議会

1. 開 会
2. 内 容
 - 1) 報 告
 - ・地域包括支援センター配置職員の異動状況について
 - 2) 議 事
 - ・介護予防支援の委託について
 - 3) その他
3. 閉 会

配布資料

- 資料 1 包括委託状況報告
資料 2 介護予防支援委託先

■第 2 回大和市認知症初期集中支援チーム検討委員会

1. 開 会
2. 内 容
 - ・平成 30 年度大和市認知症初期集中支援チーム上半期活動報告について
 - ・その他
3. 閉 会

配布資料

- 資料 1 認知症初期集中支援推進事業の活動
資料 2 大和市認知症初期集中支援チームの流れとチーム員会議イメージ図
資料 3 平成 30 年度大和市認知症初期集中支援チーム活動計画
参考資料 初期集中支援チームフロー図

■第4回大和市地域包括支援センター運営協議会

1. 開 会

- ・事務局挨拶
- ・大和市地域包括支援センター運営協議会規則（以下「規則」という）第6条第2項の規定に基づき、出席者が過半数に達しているため会議成立の旨を報告
- ・会長挨拶
- ・会長の司会により、次第に沿って進行

2. 内 容

1) 報 告

- ・地域包括支援センター配置職員の異動状況について
○資料に基づき事務局より説明

<質疑応答> なし

報告事項について、委員全員一致により了承とする

2) 議 事

- ・介護予防支援の委託について
○資料に基づき事務局より説明

<質疑応答> なし

議事事項について、委員全員一致により承認とする

・その他

- ・次回開催は、大和市地域包括支援センター運営協議会は11月22日（木）午後を予定しており、決定次第通知する。
- ・議事録については、議事録案を作成し各委員に確認していただいた後に、市のホームページに掲載する。

3. 閉 会

- ・会長より閉会挨拶

■第2回大和市認知症初期集中支援チーム検討委員会

1. 開 会

- ・事務局挨拶

2. 内容

- ・平成30年度大和市認知症初期集中支援チーム上半期活動報告について
○資料に基づき事務局より説明

<質疑応答>

委 員：認知症初期集中支援チームでの支援は、最長6か月であるとのことであったが、終了したのちに再開するということはあるのか。

事務局：一旦終了したのち、地域包括支援センターへ繋いで引き続き支援を継続させていくが、問題があった場合には再度認知症初期集中支援チームで検討し、支援を開始する場合もある。

会 長：昨年度の報告にもあったように、認知症初期集中支援チームでの支援を終了したのちにも観察・フォローを行っている。

委 員：家族からの相談が多いということであったが、独居の方が多いのか。また、市民にはどれくらい浸透しているのか。

事務局：ご家族から地域包括支援センターへご相談いただき、内容によって認知症初期集中支援チームへ引き継ぐ場合もあるが、市に直接ご相談いただく場合もある。ご家族からは、認知症初期集中支援チームでの支援を希望ということでのご相談ではなく、病院の受診を進めているがなかなかうまくいかないといった内容である場合などに、認知症初期集中支援チームでの支援の対象として地域包括支援センターから連絡をいただき、支援を開始する流れである。

委 員：資料1において、研修などへの参加者実数が目標をかなり上回っているが、ど

のように呼びかけなどを行ったのか。

事務局：チーム員が市職員のみであったときは、地域包括支援センターから相談を受け市が介入する際に、市のチーム員と相談を受けた地域包括支援センターの職員で訪問をするため人数が多く、ご本人にとって負担になってしまうのではないかと感じていた。そのため、地域包括支援センターの方にチーム員になっていただき、市職員のチーム員と地域包括支援センターのチーム員でペアになり訪問を行うことで、訪問時の人数を最小限に抑えることができると考えた。3年以上専門職の実務経験があれば、研修を受けることによってチーム員になることができるという基準に則り、地域包括支援センターの該当する職員は市で実施する研修を受講するようと呼びかけを行った。そのため、参加者実数が増加している。

会 長：ご相談者とよく接している地域包括支援センターの職員と認知症初期集中支援チームのチーム員がご本人への訪問を行うということか。

事務局：以前は地域包括支援センターの職員として同行してくださっていたが、現在はチーム員として同行してくださるため、初期集中で用いるアセスメントの部分を認知症初期集中支援チームのチーム員として担っていただいで活動を行うことができている。

事務局：認知症初期集中支援チーム以外にも地域包括支援センターが認知症の方のケアを行っているが、認知症初期集中支援チームの研修を受けてノウハウを学んでいただくことによって更に充実したケアを行うことができると考えている。

会 長：大和市内全体のスキルアップにつながっている。実人数というよりもいかに広まっているのかということを理解していただければと思う。

委 員：さらに進めていくべきことなのか？

事務局：地域包括支援センターで要件を満たす職員には研修を受けて頂き、スキルアップを図っていければと考えている。

事務局：軽度認知症の検査（脳とからだの健康チェック）についても、受診や認知症初期集中支援チームが介入するきっかけになったということがあったため、今後は各地域包括支援センターでも実施していきたいと考えている。各地域包括支

援センターでそのようなきっかけを作る機会を増やし、スムーズな支援を目指している。

委員：この各ケースをまとめた報告書は今後とても役立つと思う。効果の欄については良いのだが、例えば29の1の方の目標は、専門医に繋げることでであると口頭で説明はあったが、表には目標の記載がないので、目標という欄があるとさらにいいと思う。

会長：これは1年間の総括表なので、この項目でも随分細かいと思う。各症例に関してはもっと細かく、生い立ちからチーム員が訪問して知り得た情報が全て記載された資料がある。それを参考に、チーム員会議で各症例について検討して決めていく。介護サービスや専門医を受診するというのが、普遍的に全例に期待して考えられているものである。

委員：特に書く必要はないということか。

会長：その症例だから説明したのではなく、全例について介護サービスと専門医の受診に繋げることが目標である。

委員：4番の方は Zarit-8 スコアが関与時から終了時にかけて劇的に少なくなっているが、他の方は特に目立った変化はないと思う。これは、進行が抑えられているという解釈で良いのか。

会長：それほど単純ではなく、この症例4は介護負担感が強くストレスfulなご家族で関与時の点数はとても高かったが、その改善度もよかったため、終了時の点数が低くなり落差が大きいものとなった。Zarit-8は介護負担感なので、サービスに繋げて実際によくなったと私たちが思っても、介護者があまり大きく違わないと変化がないものである。そのため、変化があまりないという方がよくいるかと思うが、個々のものを見ないと何とも言えない。

委員：他の方を見ると、関与時と終了時の点数がだいたい同じなので、変化がなくてむしろ良かったという解釈で良いか。

会長：介護負担感などは減ってもらった方が良く、うまくいくと点数は変化する。それぞれの内容も分からないと、個々においては変わらないから良いと言うことは難しいと思う。

事務局：同じだったということは変わりがなくてよかったという見方もある。ご家族が心配していて受診につながったということで、前進はしているが、病状は少しずつ進行するため、先々のことを思って負担感は変わりないと記載されている面もあるかと思う。Zarit-8 は一つの指標だが、変わりがなければご本人にとってはあまり変化がなかったと受け取っている。同じ状態の方を介護していても様々な要因が関与し、また個人がつける指標であるため人それぞれであるが、支援をすることで改善する方もいらっしゃる。

会 長：初期集中支援は 6 か月という短い期間である。通院においては次の評価をするまでが 6 か月で、長谷川式認知症スケールも多忙なためになかなかできず 1 年経っている人もいるので、半年の評価だけで見るのは難しいと思う。何年来進まない、という結果がこの症例に限らず得られていると思う。もっと長い目で見たほうが良いと考える。

事務局：Zarit-8 の活用については、初回の時に得点がかかなり高い方に関しては、ご家族へのフォローも計画の中に入れて支援をしていくので、活用している。また、いなくなってしまうばいという発言をされる方もいれば、あまり訴えない方もいらっしゃる、こういった指標がないとご家族が感じている負担感がどういったレベルなのかがわからない。Zarit-8 の指標は有用であると感じている。

会 長：介護者の救済というのは大きな目標だ。本人の感じ方であるため、こちらの評価が高くても、家族や本人の評価が高くない人はいる。

・その他

- ・次回開催は、大和市認知症初期集中支援チーム検討委員会は平成 31 年 3 月を予定しており、決定次第通知する。
- ・議事録については、議事録案を作成し各委員に確認していただいた後に、市のホームページに掲載する。

3. 閉 会

- ・会長より閉会挨拶